

(会議の経過) 第1回宍粟市スポーツ推進計画策定委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>※開会</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから第1回宍粟市スポーツ推進計画策定委員会を始めさせていただきます。本日は非常にお忙しいところ、出席いただき誠にありがとうございます。会議に先立ちましては資料のほうですが、本日はホッチキス止めにしてある次第の資料ファイルに綴じているのでよろしくお願ひします。それを1ページめくっていただきたいと思います。本日スポーツ推進計画の策定委員として、兵庫教育大学の先生に来ていただいております。ここで簡単に先生のプロフィールを紹介させていただきます。兵庫教育大学の先生ですが宍粟市でもソフトボールの関係で、色々と宍粟市と交流があります。スポーツ委員としてもここに掲げている各市町の委員として協議の方に参加されています。色々ご指導、ご助言していただければと思います。それでは次第に沿って2番目のあいさつとして、市長、教育長よりそれぞれご挨拶を頂きます。よろしくお願ひします。</p>
市長	<p>皆さんこんにちは。大変お忙しい中出席いただきありがとうございます。これからいよいよスポーツを通したまちづくりを進めていくというところでお世話になりますどうぞよろしくお願ひします。新型コロナの関係につきまして、それぞれ皆さん方、大変な状況の中で団体運営、学校運営いただいていることと思います。第5波という状況の中で、7月以降、県下で爆発的に拡大しており、ここにきて、兵庫県では少し感染者数は下がっている状況ではありますが、予断を許さない状況に変わりはありません。さて、スポーツ推進計画については、後ほど担当の方から説明があると思いますが、宍粟市において一番大事なものは、市民の皆さんが健康で、元気で、生涯を現役でということが切なる願ひであります。そういった意味で今、特に高齢化が進んでいる中、自治会長さんや老人クラブの皆さんや地域に支えていただいて、通いの場づくりというのを地域で展開していただいております。その中では、健康体操であるとか、あるいは100歳体操であるとか、そういったことを進めながら、高齢者の皆さんの健康維持、増進をしていこうということも進めております。同時にスポーツ団体である体育協会の皆さん、スポーツ推進委員さんのお力添えで、まさに草の根運動ということで、市民の健康づくりあるいは仲間づくりといったことも努力していただきました。そのおかげで、市としても、できるだけ市民の皆さんに、日常的に健康へのアプローチができるだろうということで、しーたん放送等を通じて、朝からラジオ体操をしましょうということを進めたり、スポーツ推進委員さんの方で、ウォーキングのこともされるようになっておりますが、それぞれ地域の中でも、気軽に歩けるコースを作っていたり、そういう形で、市民の日常的なスポーツへの関心、実行、実践、そういった形で進めているところでもあります。ただ、今後、増々少子高齢化が進む中で、本当の意味でのまちづくりを進めていくには、市民の皆さんが、スポーツとしてアスリートを育てる、あるいは、スポーツを通じて健康への志向と明日への希望を持てるようになればと考えており、そういう意味ではこれからスポーツをどう推進していくか、そういったことについて皆さん方のご意見をいただく中で、将来にわたって取組を着実に進めていきたいと考えております。私自身承知しております</p>

<p>教育長</p>	<p>のは、このスポーツ推進計画を策定するのは、これまでなかったのではないかと 思っており、そういう意味では指針をしっかり定めさせていただいて、それ に基づいて、それぞれの役割を担いながら、着実に市民の皆さんの健康を推進 していく、あるいは、まちづくりへ繋げていきたいと考えています。宍粟市の 将来のためにも、今いる我々の健康やまちづくりのためにも是非お力添えをい ただきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>この度は、宍粟市スポーツの推進計画策定委員をお願いしましたところ、快く ご承諾いただき誠にありがとうございます。計画策定まで2年間と少し長丁場 になりますが、それぞれのお立場から、幅広いご意見をいただければと思いま すので、どうぞよろしく願いします。さて、昨日、波賀小学校とはりま一宮 小学校において、少し肌寒い中で運動会が行われました。それから、昨日、一 昨日は、中学校部活動の西播大会が宍粟市で行われました。コロナの制約によ り延期となっております学校行事や運動会などがようやく実施されるようにな り、そういった思いの中で、力いっぱい演技、競技している子どもたちの姿 を見させていただきましたが、コロナによって、やはりスポーツに対する考え 方というものも変わってくるのではと思っています。今年5月に、スポーツ庁 がスポーツに関する国民の意識という調査結果を公表されていますが、こうし たやや閉塞感のある家の中での生活によって、健康意識というものが一層高ま っており、先程、市長からありました、健康、年齢もそうですけど、スポーツ に積極的に参加していこうという国民の割合は、コロナ前よりも高く、それは するだけではなく、観るといふことについても、健康面に関わらずスポーツを 楽しみたいという方が多くなっているという状況です。さて、このたびのスポ ーツ推進計画につきまして、今年、オリンピック、パラリンピックのビジョン のひとつに、「多様性と共生」があります。社会の様々な分野で、多様性という ものが浸透していく中で、今後スポーツにおいても、基本的な考え方として、 コロナ禍を通じて多様に変わっていった、これがスポーツかな、ゲームかなと いうことも含めながら、スポーツの考え方そのものも変わってくるのかもわか りませんし、すべての人たちがスポーツに参加するという、スポーツに関わる 多様な人たちの関わり方という仕組、多様性にも色々な意味が含まれますが、 そういった考え方も重要な柱になってくると思います。それから、SDGsを 考えた時に、スポーツは果たしてSDGsにどのような貢献ができるのだろうか という観点も重要になってくると思います。今後10年先を見越しても、なかな か難しい面もありますが、こうした観点は重要になってくると思っています。 そうした中で、今後、市民の皆さんが、健康増進ということを柱に置きつつも、 子どもたちの健やかな成長、それから長寿社会の一層の実現、色々なスポーツ に可能性があるわけですが、総じて、市民の皆さんの健康とともに、まちづく り、元気な宍粟づくりに繋がるような推進計画になればと考えております。委</p>
------------	---

	員の皆さまのお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。
事務局	<p>それでは、次第の3番、委嘱状交付及び委員自己紹介に進みます。ここでは委嘱状交付と委員の自己紹介を段階的に切り分けて進めていきます。委員2名の方は欠席で、1名の方が少し遅れるとのことです。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは委嘱状の交付を、教育長から委員代表1名に交付願います。</p> <p>※委嘱状交付</p>
事務局	<p>他の委員は、机上交付にさせていただきます。名簿の順番に自己紹介をお願い致します。</p> <p>※委員等自己紹介</p>
事務局	※事務局より、委員長及び副委員長を委員の中から提案
委員	※異議なし。
委員長	失礼します。ファイルは委員会の方で用意していただきました。ファイルは広くなりましたが、2、3年後には冊子で一杯になるでしょう。内容的にもファイルに負けないくらいに色々な話し合いをしていただいて、なおかつ10年先は中々で、私もどうなっているか分かりませんが、目一杯、現状を十分お互いに見つめていただいて、今の子ども達がどうかという観点を加味していきながら宍粟が元気づくように、そういうスポーツでありたいなと思っています。お世話になりますけれども、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。
事務局	<p>市長、教育長は他の公務がございますので、ここで退室されます。それでは進行を進めます。5番の協議事項ということで、ここからは委員長お願いしますが、事務局より2点だけご相談、ご確認をさせていただきます。その2点というのは委員会の会議録の扱いと、会議の公開非公開についてです。会議録にあたりましては市のホームページで公開させていただきたいと思います。なお個人が特定できないように氏名を伏せるなどの配慮はさせていただきたいと思います。2点目ですが市では特に個人情報を取り扱う会議を除いて原則公開としています。特にスポーツの分野については関心も高くなっています。この会議、第1回目については非公開、第2回以降からはコロナ対策のため人数制限等をする中で傍聴可能とさせていただきたいと思います。この点についてご了解を頂ければと思います。いかがでしょうか。それでは次第に基づいて、5番目の協議事項について進行の方を委員長お願いします。</p>
委員長	よろしくお願いいたします。
委員長	<p>・計画の位置づけと策定スケジュールについて</p> <p>事務局、説明をお願いします。</p>

事務局	※計画の位置付けと策定スケジュールについて説明。
委員長	ありがとうございます。質問等については、まとめてお願いします。
委員長	・ 国県スポーツ施策の動向について 引き続き、説明をお願いします。
事務局	※国県スポーツ施策の動向について説明。
委員長	ありがとうございます。
委員長	・ 市民アンケート等の実施について 事務局、お願いします。
事務局	※市民アンケート等の実施について説明。
委員長	・ 市内 15 地区の現状について（自治会数・世帯数・人口等） 説明をお願いします。
事務局	※市内 15 地区の現状について（自治会数・世帯数・人口等）説明。
委員長	・ 今後の協議予定と委員会の進め方について 説明をお願いします。
事務局	※今後の協議予定と委員会の進め方について説明。
委員長	見えていてわかりにくいところ、質問等がありましたら、お願いします。
委員	よろしいでしょうか。教えて頂きたいのですが、小学校、中学校の全校生徒数は大体何人くらいいるのでしょうか。
事務局	すぐ調べます。
事務局	スポーツの議論をしようとするると多くの資料が必要になってきます。その都度お仰っていただければ次回以降の会議で、できましたらいただいた意見についてはできるだけ早めに資料を整理して、会議を待たずしてお送りいたします。
委員長	はい、ありがとうございます。できるだけ速やかに用意させていただきます。他に何かありますか。
委員	13 ページから書いてあるスポーツは見る、する、支えるなどありますが、競技スポーツのことを指すのですか。

事務局	その上の支えるについては市の方にしてもその方向で動くように考えております。競技スポーツに限らず、するという意味では障害スポーツを含めてウォーキングとか体を動かすこと全体のことを考えております。
委員	メインターゲットの話をする、独自のものと考えたほうが縛られないのではないですか。
事務局	その点ですが、あくまでも国、県はそういう風に幅広いものとして出されると思います。その中には宍粟市オリジナルで考えたときには、少し国・県の部分を薄くして、宍粟市としての議論、協議計画とかそういうものに肉付けを濃くするとか、そういうことは今からの議論の中で叶えていきたいと思っております。そういう部分で言いますと参酌するという表現が国の中でされていますが、国や県の計画のいいところを取りながらも、地方の計画についてはその独自性を出していく計画として、今からの議論の中で整理をしていきたいです。
委員	必ずしも縛られないと考えていますか。
委員長	そうです。5までと言いましたが、色々と次の6の意見交換、スポーツへの思いなどそういうものが入ってきているのでまとめて6までいきます。あと提案したことについては結構ですので、日頃のお考えのことについてでも良いので、ご自由にご意見がありましたら、お願いします。
委員	すいません。これは2次のスポーツ推進計画ですね。事務局として宍粟市に今のスポーツや健康づくりで問題があるのか。これを考えてもらいたいことはありますか。
事務局	全体プログラムがあるページをご覧いただきたいと思っております。こちらの28ページでプログラム案として説明の補足をしていました。本日第1回目の会議としては、それぞれ委員の初めての会議となるので、色々と自由に意見交換を頂くことをメインに考えたいと思っております。その中でできれば森田先生にもご協力いただいて、議論を活性化するようにお願いできたらと思っています。2回目では今やろうとしているアンケートの結果、分析状況を認定業者さんの方で整理して頂いて、その中から統計的に出てくる課題と、事務局が考えている課題を含めて資料を示して議論を頂きたいと考えています。そういう部分で言いますと、いろんな部分で一般的にスポーツ庁や県が運動習慣、それから統計的に出ているものとして女性参画とか障害者のスポーツ、あるいは高齢者のスポーツやそういう動向などが出てくると思っております。それぞれに課題は見えてくると思っています。今のところで、次の回の時に詳しくやっていきたいと思っています。担当課として挙げている部分として、資料の4ページとして現状課題の部分を簡単に説明させていただきます。
事務局	※4ページについて説明。
委員長	いいでしょうか。他にありましたら、お願いします。

事務局	<p>6番の意見交換として、兵庫教育大学の先生に、本日の委員さんに色々な意見を出していただくのに考えを用意していただいているので、それを進めるための提案をさせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>・意見交換（スポーツへの思いを自由に）</p> <p>先ほどの質問とも絡みますが、私はコロナで6、7つの市町の会議に関わらせていただいておりますが、1回目をきちんとしましょうとアドバイスさせていただきました。書類が出てきて、それを委員の皆さんがチェックだけして終わるパターンがあります。凄くタイトなスケジュールな場合もあります。結局のところ言葉は悪いですが、実効性にあまり繋がらない計画ができて終わってしまうところも、他の市町で多々見えています。そういう意味ではこの計画は宍粟市が作るものでありますが、この委員皆さんの可能な限りを踏まえたくて、宍粟市が最終的に判断するようにしたいです。そのためには委員の皆さんが現時点で見えている様々な意見を集約し委員のメンバーで共有して、できることと、できないことがもちろんありますが、その作業がまず必要かなということで、1回目から色々な原案を出さないほうがいいです。市や事務局としてはあまり強く出さない方が良く私はアドバイスしました。そういう意味で今日は色々な経験と背景をお持ちでここに集まっていただきました。私自身、宍粟市で生活をしていません。それを含めて今回はいろいろな計画のアドバイザーとして、この宍粟市の抱えている傾向やスポーツの課題を可能な限り、今日は1回目で、1人ずつ喋っていくと表現しにくい部分もあるので、個人で作業をしていただき、貼る方式でいきたいと思います。A4の紙を切っていただいて6つの小さい紙にしてください。ペンを1本ずつ準備しています。できましたら、それぞれ①②③とアバウトですが、大体の世代を3つに括りました。1つ目は小さい子どもから、部活動を経験するくらいの子どもの運動スポーツのところ。2つ目に子育ての親、働き世代の20代～50代の方々、3つ目は50代後半から高齢者の方々のスポーツの場面について宍粟市の中で想像していただいて、認識しているところをイメージしてもらい、良いと思うところ、改善したいところの2つずつ書いていただければ6つになります。自分が見えているところで、子育て世代の関係で3つでもいいです。6つ程度、無理ならば3つで構いませんので、①②③を書いて頂いて回収して貼りますので、こちらで共通しているもの、あるいは皆さんの披露した内容をこちらで判断して発表していきます。単語でもいいですし、短文でも結構です。宍粟市の今を認識している皆様の中で抱えている課題、あるいは守っていききたい、継続していききたい部分を書いてください。</p>
委員	<p>※紙に意見を記載</p>
委員	<p>これで揃いましたか。①のほうから見ていきたいと思います。少年のスポーツに対してプラスに見えるところですね、田舎でスペースが狭い。仮にプラス面ではスペースには困らないということだと思います。一方で、マイナスの点として距離が遠くて子どもが少ない、遊ぶ声がないということがあります。このご時世でゲーム中心、汗かくのが苦手な子どもが多い。子どもの遊び相手がい</p>

	<p>ないという部分など、子ども達の遊びを含めた、スポーツの環境が皆さんの中にプラスとマイナスに出てくるだろうと思います。特に幼稚園の先生の話ですが、一方では自然の中で遊んだり、歩くことで体を作ることができます。友達がしていることに挑戦してみようという子どもの気概もあるますが、一方では、体の使い方が分からないとか不器用な子もいます。歩かないで体力が落ちる子が気になります。それらの補足もお願いします。</p>
委員	<p>外で自由に遊ぶといっても、保護者の中には危険だということで自由に外で遊べないということがあります。私たちが子どもの頃は田んぼの中に入って遊んでいましたが、やはり自由に田んぼの中に入って自由に遊ぶことがしにくくなっているのもあるのではと思います。あと物が便利になってきて、水道も手を出せば水が出ますが、蛇口をどう使うからもわからないことがあります。和式便所から洋式に代わってから和式を使えないこともありました。やはり生活が便利になっていくうちに体の使い方がわからない子も多くなっています。</p>
委員	<p>実は私も去年から附属幼稚園の園長をしているので、最近の小さな子どもの状況を見て取れます。特に宍粟市の場合、バスや車などで来るためおそらく歩かないです。学校もそうだと思いますが、そこは考えていかないといけません。不足をどのように補うのか。あと、見ていただくと、小学校とか中学校ぐらいになってくると、いろいろなスポーツ団体があって選択肢があって良いです。スポーツの中でスポーツ 21 の活用などです。良い方法をボランティアが指導してくれます。そういう所もありつつ一方で、ここには少子化で子どもが少なくなって、社会スポーツがあると書かれています。</p>
委員	<p>子どもが少なくなっており、例えばバレー、野球、サッカーなどの少年スポーツはなかなか人数が揃わなくて取り合いになっています。中には2つを掛け持ちしている子どもがいて、子ども自身も忙しくなっています。それが少子化で、子どもたちのスポーツでマイナス、心配な部分と思い書きました。</p>
委員	<p>ありがとうございます。他にも書いてくださっていますが、団体競技が少子化で団体の種目がやりづらくなっており、個人的な競技であれば人数として出てくるが、施設等も含めて、少なくて難しいということが書かれています。そういう意味では、小学校段階から子どもたちはかなりのスポーツをしており、いろいろな団体があると思いますが、一方で、少子化の影響でできていないです。この①、スポーツの選択肢が少ないと書いていただいたのはどなたでしょうか。</p>
事務局	<p>体育協会が中心に色んな活動をされているので、非常に子どもたちが活躍できる部分がありますが、オリンピックなど見ていたが、このあたりではやっていない、ダンスとかボクシングとか、そういうまだ足りていないものがあるのではと思います。そういう指導者が市内にいないことが一つの問題ではないかと思えます。</p>
委員	<p>体の使い方に関して、ケガの仕方が下手ということが出ています。少し補足をお願いします。</p>

委員	<p>転び方が下手、体が硬くて柔軟性に欠けるということです。そういう子どもが増えていると感じます。実際学校でも、ロコモといって運動能力を調べてもらっていて、しゃがめない子どもが多いです。そのような状況で、おそらくゲームばかりして体を使っていないのではと感じます。</p>
委員	<p>やはり発育・発達期にどのように経験を提供するか考えないといけないのではと思います。これは宍粟市に限らずですが、宍粟市は先ほど言いましたが学校の子どもの数が具体的にどのくらいかによって新しい区分がでてくると思います。最後に中学校の方で部活についてプラスとマイナスについて書かれていますね。補足をお願いします。</p>
委員	<p>プラスの方は都会に比べれば部活の参加率が非常に高いです。外のクラブチームに入っている人の9割ぐらいは部活に参加しているかなと感じます。その点は良いですが最近少子化で、今後の部活動が成り立たなくなってきました。今の協議によっては、どのチームで出なければいけないとか生徒の減少で部活動の数が減ってきていて、様々なことがあります。ここ2、3年でもっと大変になると思います。</p>
委員	<p>ありがとうございます。他のことに関しては先ほど言いましたが、教育委員会でもあるが、まちづくりとしてスポーツというのも、実際子どもにはまちづくりや学校教育でやっているといった区別とは関係ないので、どうしていくか議論していく必要があると思います。国の方も見切り発車的なものがありますが、地域に移行していく宣言をしている中で、宍粟市が何をしていくかを考えることが大事なことだと思います。</p>
事務局	<p>先ほどのご質問の小中学生の数ですが、小学生が1740名、中学生が965名となります。</p>
委員	<p>続いて2つ目いきましょう。働き盛りとか子育て世代で、いきいきと参加できるグループのバレーボールや自治会のソフトボールなど、この地域ではソフトボールが凄く熱心ですね。</p>
委員	<p>みなさん好きですね。</p>
委員	<p>多分先ほどもありましたが、子どもに関して熱心なところが多い。これは見方を変えたら水臭い部分もあると思います。あと宍粟市の地形からサイクリング活動を活発化できるのではないかと。この地形をうまく利用できるのではと。市のロードレースやソフトボール大会などスポーツの機会がある点が現状としていい部分かなと思います。私なりにくくると、比較的郊外型の地域は旧の集落単位、自治会など活動が行われていて、それがベースになっています。市として熱心に色んなイベントがされているのを見て取れます。一方で、核家族等でスポーツをする時間がないです。子どもがいたら親がスポーツをする時間がありません。それと子どもの行事で自分の時間が取れていません。仕事が忙しくてあまりできません。あと職場でスポーツなど運動することが不足している</p>

	と書いてくださっています。これはどなたでしょうか。
委員	昔は職場でバレーボールやキャッチボールなどをよくやっていました。職場でお昼の時間にしていました。普段運動しないので、職場でする機会があれば良いと思います。
委員	昔は職場体育という言葉もありました。今おっしゃった、昼休みとか終わった後、土日とか半ドンのに、レクリエーションをすることが多かったです。日曜体育もそうですね。20年くらい前から、週休二日制になったこと昼休みとかでそういうのがなくなってきた。あえて、考える必要があると思います。あとは体が動かさないとか、時間を使っていない。これは一つのマイナス要因に関心・無関心に分かれていると書かれたのはどなたでしょうか。どんな感じか答えて頂いてもよろしいでしょうか。
委員長	子どもの頃ですが全体について言えますが、関心がある人は熱心ですが、無関心の人は土日に何もやってなく協力がありません。地域的にも大変になっています。
委員	色々な役員とか、業界のお世話をする人も関わってくるでしょうね。ちなみに指導者は色々な団体にいると思いますが、団体の会長さんや委員長さんが色々な掛け持ちしている状況はありますか。
委員長	それはないですね。
委員	地域によっては、どこに行っても同じ人がいるということがあます。人材だと思います。どうしても時間が仕事の関係でとれない。一つ聞きたいのですがおじさんが楽しめるスポーツがない気がするという貴重な意見を頂きました。どなたでしょうか。
事務局	相対的に時間がないことがあります。一番働き盛りの年代が集まってスポーツをする場所が無くなってきていると思います。
委員	今までは、おじさんたちが喜んでやる一つの事として自治会の対抗でやるが多かったと思います。一方ではそれに参加される方もいるが、だんだん個別になる人もいます。そのバランスをまちづくり、地域づくりの観点と個々の運動のニーズをどのように両立させてバランスをとるかが大事です。都会はまちづくりが出てきません。個人で動いて、必要なことだけはしますが、町や地域を考えたうえでこういうスポーツでイベントをしていくかを考える時期にきたと思います。最後、60歳から高齢者の方を含めて、グランドゴルフは色々な場所で見ることになると思います。時間があるので、スポーツが盛んで運動します。歩行能力の維持に熱心な高齢者がいる、やはり歩いている方が多いですか。
委員	歩く人も多いし、地域でやっているいきいき体操に参加者が多いです。

委員	それが仲間意識にもつながっています。それと先ほど出た二極化ですが、高齢者にも出ているマイナス要因と思います。プラス要因ですが老人にやさしいスポーツ、取組があると書かれています。これはどなたでしょうか。
委員	65歳になると、スイミングが無料です。市が協力してくれています。マイナスの部分としてそれを活用している人がどれだけいるのかという話です。
委員	そういう温水プールが無料にするといった取組、グラウンドゴルフやウォーキングなどの一方で、マイナス要因として二極化として閉じこもりの高齢者が増えていて、スポーツに抵抗のある方もいます。移動に距離があると書いていただいた方はどなたでしょうか。これも必ず出てきますが農作業でも体を動かしているから十分という人は多いと思います。それでスポーツをやりたくても機会がとれないし、する必要もないということです。継続しづらいという点について補足をお願いできますか。
事務局	高齢者なので体調不良も含めて、継続したいができない時もあると考えました。
委員	そういう意味では、こちらの継続していないと効果があるか疑問であるというのは、イベント毎にはやるけれどもという感じでしょうか。
委員	市が主催しているイベントはその時だけであって継続ができていません。その時は一生懸命やってもすぐやらなくなります。私たちがやっている健康体操は30年くらい続いていて、その時病気になってもゆっくり休んでもらって元気になったら一緒にやります。そういう指導者を育成しています。もう一つ、400人以上おりますがその中で男性が非常に少ないです。だいたい女性が元気になって男性が衰えてしまいます。男性は仕事が忙しいとかでやらないから、放っておいて女性だけが元気になろうとやっています。もう少し男性の意識を変えないとどうしようもないと思います。
委員	重要な意見ありがとうございます。男性の意識改革、年齢的なものもあると思います。今の話はそういう意味では、働き世代、子育て世代もそうですが最近イベントで母親をターゲットにした企画とか、その間託児をしますという企画はスポーツ活動などで大きくなっています。そういう意味ではターゲットを絞った企画をすることは、場をとらえて、男性の高齢者が女性の中に入るのがプライドを許さない人がいる中かもしれないし、そういうことも考えると面白いです。最後に高齢者はなぜグラウンドゴルフをするのか。これはどなたでしょうか。
事務局	すごく多いですね。ゲートボールはどこに行ったのですか。何か他にできることがあれば良いのではと思います。
委員	この地域では、ほとんどゲートボールはされていないのでしょうか。
委員長	60名ほど集まる大会はまだやっています。

委員	人数的にはグラウンドゴルフでしょうか。
委員長	圧倒的に 200 人以上はグラウンドゴルフをやっています。
委員	そのあたりはなぜかというのはご存じだと思います。団体競技と個人競技の色々なプレッシャーとか問題があると思います。他、いかがでしょうか。
委員	宍粟市は広いので、距離の問題は私が書きました。バスが出ていますが時間が合わず車移動をしなければいけないので、なかなか動きにくいと感じました。
委員	宍粟市は少子化が急激に進んでおり、確かにたくさん子どもがいて、人が集まりスポーツができれば良いと思います。そのような取組も地域で進んでいるが、なかなか難しいです。人数が少なくても、なんとかプラスになるようなものを考えていかないといけません。
委員	特に子どもの数に関しては長期的に見ても増えることでもないし、今後全体的に考えるとスポーツ、運動するやり方自体を考えないといけません。先ほど2種目位やる話でしたが、今までの1種目のかかわり方で2種目をやると大変になりますよね。でももしかしたら、色々な体の動かし方を考えると、複数種目をどれくらいの塩梅でやるかを考える必要があるかもしれないです。他の学校や都市部と違うものをしていかないといけない気がします。お分かりの通り、日本では教育としてスポーツが発展したので子どもは教育的な部分が絡みつつ、健康、スポーツを広める両方がセットになっています。事務局や教育委員会の関係の方も必要に応じて入っていきながら議論が必要かと感じました。最初の1回目で皆さんの思いがあることをお互い理解し合う時間になってくれればと思います。
事務局	意見交換はここまでにして、次回日程の方を事務局の方から説明をさせていただきます。
事務局	・次回日程 ※次回日程について説明。 仮で、12月13日月曜日の13:30の本日と同刻で進めていきます。日程の変更があるかもしれませんので、事前にご案内のほうをさせて頂きたいと思います。協議事項について予定していたものは以上になります。熱心に議論して頂いてありがとうございます。
委員	あいさつにあったとおり、今朝は寒かったです。私も冬を感じました。秋というものは少し居心地が良いですが、スポーツの秋を一気に感じる気がしました。委員の意見で、良い会議ができたとおもいます。日中で忙しい中ありがとうございます。閉会のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。
	※閉会

* 発言者の表記は、「市長」、「教育長」、「委員長」、「委員」、「事務局」とする。